

技能五輪への挑戦

造園緑化コース

1. はじめに

技能五輪全国大会に出場し同年代の出場者の技能を確認し、自身の実力と比べどのような違いがあるかを知ること。他出場者の良い点を確認し、そこから知識や発想を取得、今後にかしていこうと考えた。

2. 技能五輪とは

技能五輪全国大会は、国内の青年技術者(原則 23 歳以下)を対象に、技能競技を通じ、青年技術者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性及び必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的として実施する大会であり、昭和 38 年から開催されている。幅広い職種を対象とする、唯一の全国レベルの競技大会である。また、国際大会<唯一の世界レベルの技能競技大会(隔年開催)>が開催される前の年の大会は、国際大会への派遣選手選考会を兼ねている。

3. 競技日程

11月22日（金）下見説明 11月23（土）、24日（日）競技

4. 課題内容

8月27日に競技課題、平面図、詳細図等が発表された（図-1）。

5. 採点項目

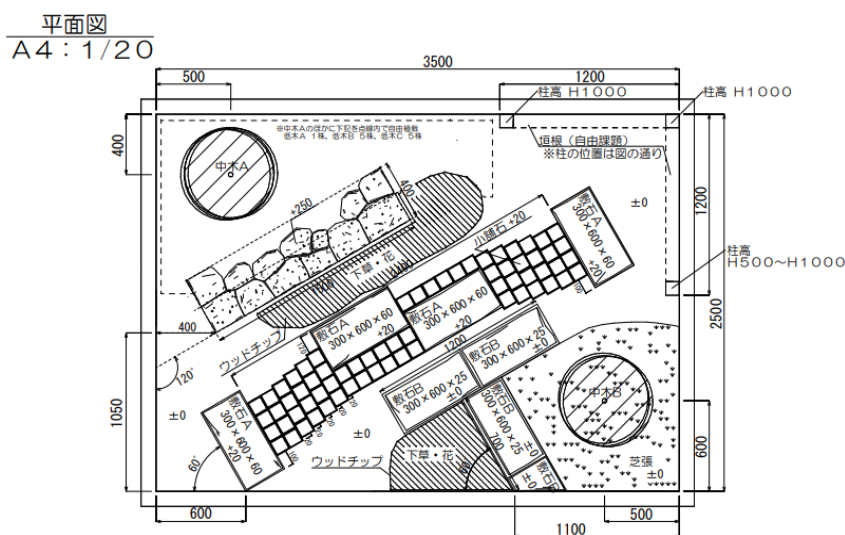
国際大会に準じて、次の二点を実施する。
(1) モジュール採点を行う。競技1日目の作業終了時までに石積み、平板、小舗石の施工を完了させること。

以上の工程を競技 1 日目に採点する。

(2) 競技前日、課題の一部を変更する。11月22日の課題説明時に、変更内容を公表する。

6. 採点基準

下記の通りに採点される



図一1 課題平面図

作品採点(客観評価…40点、出来栄え…50点)、作業態度採点(工具の取り扱い、安全作業、仕様書・図面の理解、作業現場の清潔さ…10点)

採点は、採点基準(非公表)に基づき、加点法により行う。

7. 練習内容

- (1)石積み (2)敷石、小舗石 (3)割石 (4)垣根(自由課題) (5)植栽
(6)自由植栽 (7)草花植栽 (8)芝の植付け (9)地均し・整地 (10)片付け

8. ものづくりマイスターによる実技指導

- (1)石積みの指導 (2)敷石Aの指導 (3)小舗石の指導
(4)樹木植栽の指導 (5)花壇植栽の指導 (6)整地の指導

9. 競技前日

課題の一部が変更された
(図-2)。

10. 競技当日

石積みや敷石に苦戦したもの
の何となく時間内に終わらせる
ことが出来た(写真-1)。

11. まとめ

当初の目的である同年代の
実力の確認と自身の実力がい

かに通用するか競技を通して確認でき、競技終了後に他の出場者と会場全体を見て回り意見を交換することで各々がこだわった点を知った。意見を交換することで多くの発見とアイデアを得ることができたため有意義な時間となった。今回の大会に出場したことで多くの技術と知識を得ることができた。

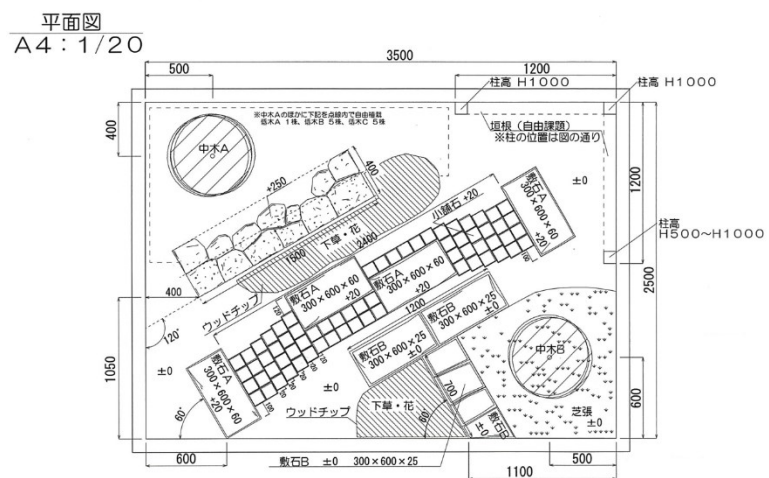


図-2 課題平面図



写真-1 完成写真